NO：182　2023.9.24発行

けんすけタイムズ

# Kensuke Times

立憲民主編集部　〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-12-4 ふじビル３F
Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302
Mail goiken@cdp-japan.net HP http://cdp-japan.jp/

立憲民主 The Constitutional Democratic Press RIKKEN MINSHU

LINE 公式アカウント

愛知 13 区
安城・刈谷・碧南・知立・高浜

## 衆議院議員

# おおにし健介

タイトル
充電完了！ようやく国会召集。

## 1. ようやく国会召集

１０月２０日、ようやく国会が召集されました。９月中旬に内閣改造が行われ新たな体制がスタートしたのに遅すぎると言わざるをえません。

ガソリン価格の高騰をはじめ物価高に対応するための経済対策、その裏付けとなる補正予算の審議は待ったなしです。その他にもトラブルが続くマイナ保険証、ＡＬＰＳ処理水海洋放出の影響、子どもを性犯罪から守るための日本版ＤＢＳの整備、インボイス開始の影響など課題は山積しています。

閉会期間中は、７月の刈谷市議選挙の後は、夏祭り等の地元での行事に出席し、皆さまの声を聴き、国政報告会等を行うとともに、現地視察等を行い、私も来るべき臨時国会に備えてきましたが、充電完了です。

## 2. 政治をあきらめない

９月に入り、長妻政調会長を招いての国政報告会、泉房穂前明石市長を招いての「おおにし健介君を育てる会」を開催しました。

長妻さんからは「自民党の中枢にいる政治家には庶民感覚がないので、物価高、年金や医療の国民の不安が分からない」、「業界団体にお金を流すのが自民党のやり方。中抜きできるようにしてパーティー券を買ってもらうため」との話がありました。

泉さんからは「経済がよくなれば国民が豊かになるというのが間違い。国民が豊かになれば経済がまわる。明石ではこどもに思い切って投資することで、子育て世代に余裕が生まれ、経済の好循環が生まれた」、「社会を変える現実的な方法は政治を変えること。政治をあきらめないで欲しい」とのメッセージをいただきました。

政治には「できないこと」を「できるようにする」権力があります。しかし、今の政治はその使い方を間違えています。トリガー条項の凍結解除ひとつできずに、一方では特定の事業者が有利になるように国会質問をして多額の現金を受け取ることに権力を使うのではなく、国民のために権力を使う政治に大転換しなければなりません。

【衆議院議員　おおにし健介事務所・立憲民主党愛知県第 13 区総支部】
〒446-0074　愛知県安城市井杭山町高見 8-7 2F　ＴＥＬ：0566-70-7122　ＦＡＸ：0566-74-2008　メール office@oniken-web.jp

## 3. 議員外交

自民党女性局の物見遊山のパリ研修旅行は論外ですが、議員外交自体は必要です。私はこの閉会中、超党派派遣団の一員として仏ストラスブールでの日・ＥＵ議員会議に出席し、世界的なインフレへの対応についてスピーチも行い、ウクライナ情勢、ＥＵにおけるＥＶ化の動向や生成ＡＩ規制などについて意見交換を行いました。

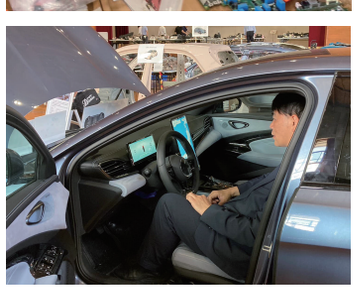
また、２日間の会議の後、ポーランドに移動し、ウクライナからの避難民と会い、直接お話を聞きました。ウクライナ戦争とその影響について、生の情報を得ることができたことは有意義でした。

さらに、先日、東京で行われた日韓・韓日議員連盟の総会では、司会を務めるとともに、６つの分科会の一つである未来委員会の委員長を務めました。

尹政権になって日韓関係は改善の方向に向かっていますが、歴史問題やＡＬＰＳ処理水の海洋放出など課題もあります。お互いに言いたいこと言わずに黙っているのではなく、顔を合わせてコミュニケーションをはかることが重要です。日韓両国の若者は、ＫＰＯＰやアニメなど互いの文化に強い関心を持っており、両国の緊密な関係は互いに経済的利益があることを知っています。また、日米韓三ヶ国の緊密な連携は東アジアの平和と安定の要です。

私は、かつて外務省北東アジア課で仕事をした経験から、韓国京畿道の安城市（アンソン市）選出の金學容議員と交流を続けています。今後も地道な議員外交を続けていきます。

## 4. 現場視察



私も日頃から「現地・現物・現認」というのを重視しています。閉会期間中を利用して、関心分野の視察も積極的に行っています。

例えば、先日は、岐阜県瑞浪市にある廃校となった中学校を利用しテスラやＢＹＤのＥＶを解体して部品を展示している施設を視察しました。ＥＶになると構成する部品がどう変わるのか、デザインや製造工程にどんな変化をもたらすのか、実際に自分の目で見て感じることができました。

また、エアポートガーデン羽田の多摩川を挟んだ対岸にあるライフサイエンス特区「キングスカイフロント」を視察し、医療機器メーカーが運営する最新の機器のトレーニング施設を実際に見せてもらいました。ちなみに、キングスカイフロントにあるナノ医療イノベーションセンター (iCONM) の片岡一則センター長はノーベル賞候補にも名前が挙がっています。立憲民主党は、グリーン、ライフ、ローカル、デジタルを成長分野の柱と考えており、ライフサイエンス分野に戦略的投資を行うべきと考えています。

**Profile**

▶昭和４６年４月１３日生まれ ▶京都大学 法学部卒

▶国会職員、在アメリカ大使館二等書記官、
衆議院議員　馬淵澄夫政策担当秘書を経て、
平成２１年第４５回衆議院議員総選挙で初当選。
以来、連続５期当選。

▶党務では、選対委員長、青年局長などを経て、
現在は政務調査会会長代理（筆頭代理）
次の内閣 NC　ネクスト内閣官房副長官

▶国会では、予算委員会、厚生労働委員会、
情報監査審査会

▶小学生、中学生２人の男の子のパパ。
ニックネームは「オニケン」